２０２０年１２月１１日

静岡県知事　川勝　平太　様

静岡県労働組合評議会
議長　菊池　仁

新型コロナウイルスの感染拡大に対する緊急要請について

日頃からの静岡県民の暮らしの向上へのご尽力に敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染が再び拡大し始め、医療機関や保健所等の職員は、感染拡大を防ぎ住民のいのちを守るため、昼夜を問わず奮闘されており、私たちはそのことに感謝をしています。

しかしながら、静岡県内でも新型コロナウイルス感染者が急増し、12 月 4 日の県知事緊急会見では病床が満杯に近づいていると述べ、危機的状況を訴えられました。新型コロナウイルス感染症はまだ不明な点も多く、感染しながら無症状の人も多いこと、感染が判明しても軽症ですむ人が多い一方で、重症化すると死に至ること、後遺症が残る人もいるなど、これまでの感染症と違うとも報道されています。

こうした状況のなか、緊急ではありますが、私たちは静岡県内の労働者や県民が安心して暮らし、働くことができるよう、改めて静岡県知事として取り組んでいただきたく、次のとおり要請します。

記

１　新型コロナウイルス感染に関連する大規模な予算措置を行うこと

感染拡大防止対策、雇用対策、生活保障対策、景気対策など、県民の生活を保障するため、十分な予算を確保し執行する

２　ＰＣＲ検査の拡大をすること

(1) 無症状者を掴み、保護するため、感染急増のリスクのある地域の集団検査を無料で行う

(2) 医療機関、介護・福祉施設、保育所・こども園、幼稚園、学校、学童保育などの施設職員に無料で定期的な検査を行う

３　保健所の体制強化をすること

新型コロナウイルス対策の最前線にいる保健所職員のため、緊急に専門職の採用、退職者の活用などで人員確保・増員をする

４　医療機関に対する財政的支援をするとともに、国へも支援を要請すること

医療機関は新型コロナウイルスの対応や風評被害の受診抑制で経営難に陥り、ボーナス削減などを強いられている。県内の医療体制を守り支えるため、医療機関の減収補填や各医療機関が必要とする資材などの提供を行い、医療従事者が安心して働ける環境を整える

5　感染者や家族、医療関係者などに対する誹謗中傷への対策を徹底すること

新型コロナウイルス感染者やその家族、医療関係者などに対する差別やいじめがあり、それが濃厚接触者の検査拒否につながっていると聞く。また、外出自粛によるＤＶや虐待もあると聞く。誹謗中傷や虐待に対する啓蒙など、対策を徹底的に行う

以上